



新年のご挨拶

社会福祉法人 浄山会 理事長
介護老人福祉施設 つきかげ苑 施設長



稲岡 正純

新年あけましておめでとうございます。皆様には於かれましては、健やかな新春をお迎えの事とお慶び申し上げます。平素はご入居者ご家族の皆様や地域の皆様からの温かい御支援と御協力を賜わり無事に新年を迎える事ができ、心より厚く御礼申し上げます。

御承知のように今年は午年うまごしであります。午は十二支の中では七番目に数えられ、時刻では午前十一時から午後一時までの二時間を示し、方角では南にあたります。十二支の中でも午は成長や成功、繁栄のシンボルとして縁起が良いものとされており、また、今年の干支えとは六十年に一度の「丙午ひのえうま」です。火の要素を二重に持つことから情熱や強さを象徴するとされています。

「人間万事塞翁が馬」と言う諺があります。その昔、中国の塞翁という老人の飼っていた馬が逃げてしまったという事に皆が同情したところ、塞翁はその事が幸いと呼ぶかもしれないと悲しむ様子はありませんでした。その後逃げた馬が別の立派な馬を伴って戻ってきて、結果幸運に転じたという話です。一見不幸に見える出来事であっても後には幸運に繋がることになったり、反対に幸運の前兆と思われたのに予想外の試練に見舞われることもあります。幸運が不運かは容易に判断し難い、という人生訓ではありますが、辛抱強く努力する事によって長期的には幸運につながる、と信じて目の前の出来事に一喜一憂する事なく、健康に留意し充実した一年にしていきたいものです。皆様方の暖かい御支援、御協力を頂戴致し、職員一同、頑張って施設運営に取り組んでまいります。今年も何卒宜しくお願ひ申し上げます。

年末年始のご様子



レクリエーション



おやつ作り



紅葉散歩



出前・テイクアウト



合唱



ラーメン・餃子



ネイル・ハンドケア

看取り発表会



先日、全ユニット参加にて看取り介護についての発表会を行いました。つきかげ苑で看取り介護を行う中、介護職員は「最期の時」に向かうご入居者に、その人らしさとは何か、何を求めておられるか、その人の尊厳を重視し、どのように対応し向き合っていけばよいか、を共有しながらケアを実践していきます。日々を重ねていく上での悩みや不安は常であり、看護師としてどうサポートしていけばよいのかと迷うことも多々あります。看取り介護のあとには、必ずといって「もつとこうしておけば良かった」という思いが残ります。振り返りの中での後悔や反省を通して看取り介護について多くのことを学ぶことができると思っています。重要なのはその思いや学びを多職種協働のもと、今後のケアに活かしていくことです。

今回の看護部の発表では、看取りをご家族が受け入れることの難しさをテーマに取り上げました。一人ひとりの人生が違うように、最期を迎える場面も皆それぞれ違います。その人らしい最期を悔いなく迎えることができるよう、その時までこのつきかげ苑で穏やかに過ごしていただけたら、と思っております。看取り発表会にご協力下さったご家族様に感謝いたしますと共に、このような取り組みを継続していけるよう努めます。

看護部 花本和範

新入居者紹介



一階うめユニットに入居された加藤千恵子様です。苑での生活も少しずつ慣れてこられた様子で、毎日職員やご入居者とのおしゃべりを楽しまれています。



山住富枝様は三階はぎユニットに入居されました。趣味はスポーツ観戦、野球は阪神ファンです。若い頃は海外・国内問わず旅行に行かれていたそうです。

おせち料理



毎年お正月には、お雑煮とおせち料理を出させていただきます。有頭えび旨煮、数の子、昆布巻き、絵馬かまぼこなど、縁起物をたくさん召し上がっていただくことで元気に新しい年をお過ごしになれるよう願っております。

要望受付

令和七年十一月から十二月中旬に、ご入居者及びご家族から頂きましたご要望は二件となります。

ご要望の内容は、「認知症により会話が難しくなってきたが、できる限り話しかけて刺激を与えてほしい」「洗濯物たたみなどの家事をする機会を提供してほしい」となっております。

前月号に掲載しておりました「本人の夫の法要に本人も参加させたいため、多目的ホールで法要をさせてほしい」につきましては、十月上旬にご本人も列席され、しめやかに十三回忌を執り行われました。仏像を祀る多目的ホールでの法要は今回が初めての機会でありましたが、過去には入居者ご本人の葬儀を行われ、職員だけでなく親しまれたご入居者方が会葬された事もありました。自宅替わりの居室で葬儀をされるケースもあり、今年度も二名の方が居室から出棺されました。

頂戴しましたご要望は、ケアプランの立案や各種委員会、フロアミーティングなどで検討し、ご入居者の生活がより豊かになるよう努めてまいります。

また、一階事務所横の提示版の下に設置しておりますご意見箱や、各行政機関の要望受付窓口（市、区、国民健康保険団体連合会）及び第三者委員（地元学区民生委員など）へのご相談もご利用ください。

つきかげ苑理念

私たちは、自立支援・自己決定・生活の継続性・個性を大切にします。

「共生（ともいき）」思想に基づき、利用者本位の明るく、楽しく、やすらぎのある施設づくりに努めます。

編集後記

丙午には幾つかの迷信があり、出生率が大きく減少した過去がありますが、情熱やエネルギーに満ちた、大きな変化と飛躍のチャンスがある年とも言われています。

しかしながら、良い「兆し」があっても見ているだけでは「眺める」で終わってしまいます。手で兆しを掴みに行ってください「挑む」ことができます。そして、兆しをしっかりと掴み足で走ると「跳ねる」ことができます。

物価高や人手不足など様々な課題が立ち塞がっていますが、勇気を持って果敢に挑戦し、駿馬の如く大きく跳躍する年にしたいものです。

